

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number : **06-113746**

(43) Date of publication of application : **26.04.1994**

(51) Int.CI.

**A23G 3/00**

**B41M 3/00**

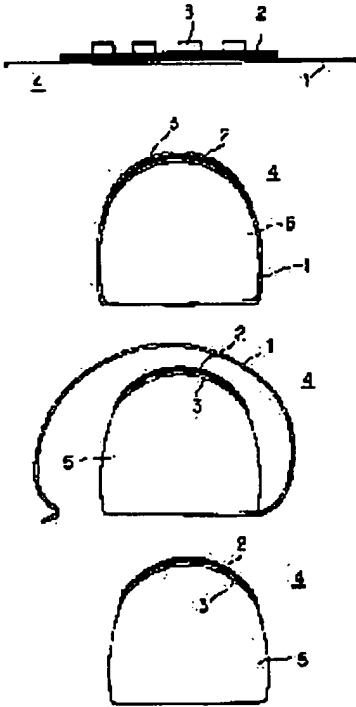
(21) Application number : **04-296373**

(71) Applicant : **TOP FOODS KK**

(22) Date of filing : **08.10.1992**

(72) Inventor : **YOSHIMURA CHIKAHITO  
NAKAYA EITARO**

**(54) TRANSFER SHEET FOR TRANSFERRING LETTER OR PICTURE  
DRAWN ON WATER-SOLUBLE EDIBLE FILM TO FOOD AND METHOD  
FOR TRANSFERRING THE SAME**



**(57) Abstract:**

**PURPOSE:** To a transfer sheet for transferring a character and a picture drawn on a water-soluble edible film to the surface of a food containing moisture such as MANJYU (a bun with bean-jam filling).

**CONSTITUTION:** A starch of the devil's-tongue dissolved in a liquid such as water is applied to a plastic film, subjected to anti-fogging treatment so as not attach water drops to the surface of the film, by screen printing or a roll coater to give a coating film having about  $1-3\mu$  thickness. A picture or a character is drawn on the coating film of the starch of the devil's-tongue by using an edible ink to make a coating film 3 of picture. The coating film of picture is stuck fast to the surface of a food containing moisture such as MANJYU and the food is packed. The coating film of picture is transferred to the surface of the food such as MANJYU by moisture contained in

the food such as packed MANJYU. Then the used plastic film is peeled to transfer the water-soluble edible film and the coating film of picture to the surface of the food.

---

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

**27.09.1999**

[Date of sending the examiner's decision of 06.03.2001  
rejection]

[Kind of final disposal of application other  
than the examiner's decision of rejection or  
application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's 2001-05276  
decision of rejection]

[Date of requesting appeal against 05.04.2001  
examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-113746

(43)公開日 平成6年(1994)4月26日

(51)Int.Cl.<sup>5</sup>

A 23 G 3/00

B 41 M 3/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

7810-2H

審査請求 未請求 請求項の数2(全3頁)

(21)出願番号

特願平4-296373

(22)出願日

平成4年(1992)10月8日

(71)出願人 59222230

トップ・フーズ株式会社

茨城県久慈郡大子町頃藤4202-1

(72)発明者 吉村 近人

茨城県久慈郡里美村大中1655

(72)発明者 仲谷 榮太郎

埼玉県浦和市大門2716

(74)代理人 弁理士 中山 正義

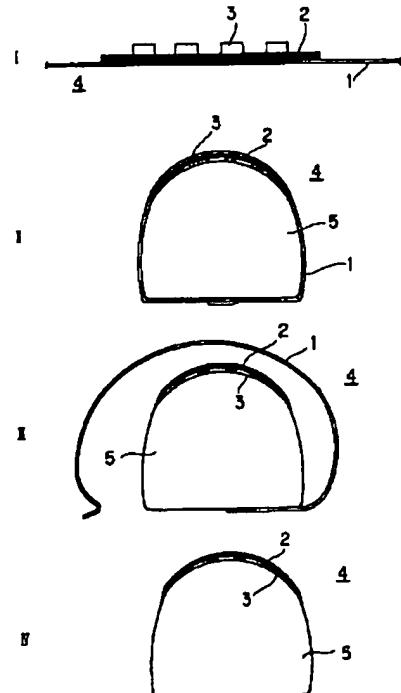
(54)【発明の名称】 水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写シート  
及びその転写方法

する転写シート

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 饅頭等の温氣を含む食品の表面に、水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写シート及びその転写方法を提供する。

【構成】 表面に水滴が着かないようにボードン処理を施したプラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコーティング等で厚さ1μ～3μ程度のコンニャク糊被膜を作り、このコンニャク糊被膜の上に可食インキを用いて絵又は文字を描いて絵画被膜3を作る。この絵画被膜を饅頭等の温氣を含む食品5の表面に密着させて包み、包んだ饅頭等の食品に含まれる温氣で前記絵画被膜を饅頭等の食品の表面に転写し、かかる後前記処理済みのプラスチックフィルムを剥すことによって食品の表面に水溶性可食フィルムと絵画被膜とを転写する。



BEST AVAILABLE COPY

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施した処理済みのプラスチックフィルムの上にコンニャク粉を水等の液で溶いて作ったコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコーダ等で厚さ1μ～3μ程度の水溶性可食フィルムを作り、この処理済みのプラスチックフィルム上の水溶性可食フィルムの上に可食インキを用いて絵又は文字を描いて絵画被膜を有する転写シートを作り、この転写シートの絵画被膜を饅頭等の食品の表面に密着させて転写シートで饅頭等の食品を包み、包んだ饅頭等の食品に含まれる湿気で前記転写シートの絵画被膜を饅頭等の食品の表面に転写し、かかる後に前記処理済みのプラスチックフィルムを剥すことによって饅頭等の食品の表面に水溶性可食フィルムと絵画被膜とを転写することを特徴とする水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写方法。

【請求項2】表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施した処理済みのプラスチックフィルムと、この処理済みのラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコーダ等で設けた厚さ1μ～3μ程度の水溶性可食フィルムと、この水溶性可食フィルムの上に可食インキを用いて絵又は文字を描いた絵画被膜とからなることを特徴とする転写シート。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、饅頭等の湿気を含む食品の表面に、水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写シート及びその転写方法に関する。

## 【0002】

【従来の技術】コンニャク粉と水とを1対40～80の割合にしたものをミキサー等で均等に混合して可食インキを作る工程と、このミキシング工程で製造された可食インキを平坦なポリカーボネイト板等の剥離させることができる板上にスクリーン印刷法によって印刷したのち、乾燥させる作業を少なくとも一回以上行なって薄肉の可食シートを形成する可食シート形成工程と、少なくともコンニャク粉と水とを1対40～80の割合にしたものに所定量の食用着色料を入れミキサー等で均等に混合して着色可食インキを作る着色ミキシング工程と、この着色ミキシング工程で製造された着色可食インキで前記可食シート形成工程で形成された可食シートにスクリーン印刷法によって文字や模様等を印刷した後、乾燥させて文字や模様等が印刷された可食シートを形成する印刷を有する可食シート形成工程と、この印刷を有する可食シート形成工程後に板より印刷を有する可食シートを剥離させる工程とで製造した可食シートを用いて食品を包装したり、食品の外周部をコーティングするものを特開平4-27354号公報に開示した。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】この、従来の可食シートの上に可食インキで文字や絵を印刷したものは、プラスチックフィルムから可食フィルムを剥がす取り扱いを容易くするために可食フィルムを厚くするためにコンニャクフィルム自体にクラックや亀裂が入り易く、製造工程、保存、及び食品に添着する場合に手間がかかる等の欠点があった。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写する転写方法は、表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施した処理済みのプラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコーダ等で厚さ1μ～3μ程度のコンニャク糊被膜を作り、このコンニャク糊被膜の上に可食インキを用いて絵又は文字を描いて絵画被膜を作る。この絵画被膜を饅頭等の湿気を含む食品の表面に密着させて包み、包んだ饅頭等の食品に含まれる湿気で、前記転写シートの絵画被膜を饅頭等の

食品の表面に転写し、かかる後に前記処理済みのプラスチックフィルムを剥すことによって饅頭等の湿気を含む食品の表面に水溶性可食フィルムと絵画被膜とを転写するのである。しかして、食品に文字や絵を転写することが出来る本発明の転写シートは、表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施した処理済みのプラスチックフィルムと、この処理済みのプラスチックフィルムの上に水等の液で溶いたコンニャク糊をスクリーン印刷又はロールコーダ等で設けた厚さ1μ～3μ程度の水溶性可食フィルムと、この水溶性可食フィルムの上に可食インキを用いて絵又は文字を描いた絵画被膜と、からなることを特徴とするものである。

## 【0005】

【実施例】この発明を例示した図にもとづいて説明する。先ず、厚さ50μ～100μ程度のポリエチレン等のプラスチックフィルム1の表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施す、該処理済みの厚さ50μ～100μ程度のポリエチレン等のプラスチックフィルム1の上に、コンニャク粉と水等の液を1対40～80の割合にしたものをミキサー等で均等に混合するなどして溶いたコンニャク糊を、スクリーン印刷又はロールコーダ等で厚さ1μ～3μ程度のコンニャク糊被膜による水溶性可食フィルム2を作り、この水溶性可食フィルム2の上に、少なくとも、コンニャク粉と水とを1対40～80の割合にしたものに所定量の食用着色料を入れミキサー等で均等に混合して作つた着色可食インキを用いて厚さ5μ～10μ程度の絵又は文字を描いた絵画被膜3とからなる転写シート4を作る。そして、この転写シート4を饅頭等の湿気を含む食品5の表面に絵画被膜3が密着するように包み、包んだ饅頭等の食品5に含まれた

50 湿気で前記転写シートの絵画被膜3を処理済みプラスチ

BEST AVAILABLE COPY

ックフィルム1から食品5の表面に転写し、しかる後にこの処理済みの薄いプラスチックフィルム1を剥すことによって、水溶性可食フィルム2と水溶性可食フィルム2に描かれた文字や絵を饅頭等の湿気を含む食品5の上に転写する。

【0006】このように、食品5に水溶性可食フィルム2、絵画被膜3を転写するこができるのは、第1にコンニャクには吸水性があるから、コンニャクを原料として作った水溶性可食フィルム2と絵画被膜3は、該絵画被膜3面を饅頭等の湿気を含む食品5の表面に当接するように包んだ時、湿気のある側に移行する性質を利用できる特性がある。従って、饅頭等の湿気のある食品5の表面に接した時、この時点では饅頭等の食品5の表面との密着力が処理済みのプラスチックフィルム1と水溶性可食フィルム2との密着力より強くすることが出来るから、水溶性可食フィルム2と絵画被膜3とを食品5に残して処理済みのプラスチックフィルム1だけを剥すこができる現象である。第2にプラスチックフィルム1の表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施したことによりプラスチックフィルム1から水溶性可食フィルム2の転写性を一層高められたことである。

【0007】

【発明の効果】本発明によれば、従来の可食シートの上に可食インキで文字や絵を印刷したものはプラスチックフィルムから可食フィルムを剥がす取り扱いを容易にするため二可食フィルムを厚く(4~5ミクロン)するためにコンニャクフィルム自体にクラックや亀裂が入りやすく、製造工程、保存、及び食品に添着する場合に手間がかかる等の欠点を除いて、饅頭等の湿気を含む食品に文字や絵を容易に転写するこができるようになった。しかも、この方法によれば、湿気の少ない場合には食品を包んだ状態で蒸すことにより容易に転写するこができる効果を奏するものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の水溶性可食フィルムに描かれた文字や絵を食品に転写するシート及びその転写方法を示す図である。

【符号の説明】

1~表面に水滴が着かないようにボーダン処理を施したプラスチックフィルム  
2~水溶性可食フィルム  
3~絵画被膜  
4~食品

20

5~食品

BEST AVAILABLE COPY

【図1】

